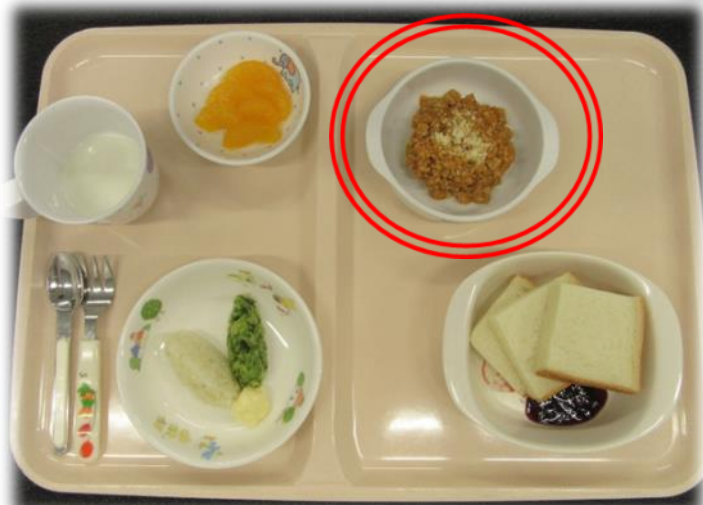


通園の食事

栄養科 竹内典子

通園の人気メニューを紹介します



食パン
ブルーベリージャム
南瓜のミートグラタン風
キャベツとフロッキーのサラダ
みかん缶

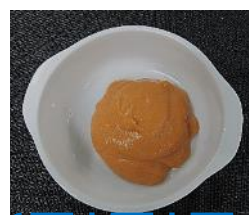
南瓜に豚ひき肉・玉ねぎ・干し椎茸で作ったミートソースをたっぷりかけます。仕上げに粉チーズを一振り。形態に合わせて、南瓜とミートソースをそれぞれ加工します。



幼児食・後期食



中期食



初期食



流動食・経管食

通園で泳ぐ鯉のぼり



〒183-8553
東京都府中市武蔵台2-9-2
東京都立府中療育センター
電話 042(323)5115
FAX 042(322)6207

--*ホームページもご覧下さい*-*-*

<http://www.fukushi.metro.tokyo.jp/fuchuryo/index.html>

ひだまり

都立府中療育センター新聞 第557号 発行日 令和6年5月31日

令和6年看護の日 イベント

5.12
NURSING DAY

看護の日実行委員 2C病棟 尾崎麻里子
3A病棟 林 麻由子

新緑が眩しい爽やかな5月の風を受け、ナイチンゲールの誕生日に因んで制定された「看護の日」のイベントを開催しました（開催日は5月10日）。今年のイベントテーマは「さあ、看護の未来を見つけにいこう」でした。実行委員のメンバーは、お揃いのピンクのはっぴに身を包み、気持ちを一つにして来院されたご家族や職員をお迎えしました。

イベントの内容は「バイタルサイン、体圧に関するポスター展示」、「バイタルサイン測定と体圧測定の体験」、「リフトを使った移動方法の紹介」でした。今年は初めて外来の待合スペース外側の屋外デッキを活用し、バイタルサインの測定を行いました。測定の際には外の気持ちの良い風を受け、リラックスした状態で体調などについて参加者のお話を伺うことができました。バイタルサインの測定では「体調に気を付けるきっかけになりました」、体圧測定では「今後の参考になりました」、リフトを使った移動方法との紹介では「リフトの操作体験はとても貴重な体験となりました」といった感想をご家族や職員から聞くことができました。

ご家族や職員はじめたくさんの皆様のご協力をいただき、無事に終えることができました。ありがとうございました。

実行委員のメンバー



リフトの操作体験の様子



通園 春の遠足

通園 保育担当



5月17日（金）快晴の中、通園は東京競馬場内にあるJRA競馬博物館と、隣接の日吉が丘公園へ遠足に行ってきました。親子一緒に大型バスの中から景色を楽しみ、20分ほどで到着。日吉が丘公園では、丘の上から馬術を見学できました。そこから、丘をもう少し登るとアンパンマンの銅像があり、富士山も綺麗に見通すことができ、皆で記念撮影をしました。

残りの時間は、暑さにも後押しされて水遊びする子、遊具で遊ぶ子と、お弁当の時間まで目一杯遊びました。外でのお弁当時間はいつもとは違う雰囲気、風を感じて子どもたちも気持ちよさそうな表情でした。昼食後は博物館へ。博物館では、大人は競馬の歴史を学び、子どもたちは間近で見る大きな馬のレプリカに圧倒されていました。



1B 春のお楽しみ会



1B病棟 福祉職

5月8日（水）1B病棟では、春のお楽しみ会を開催しました。デイルームのスクリーンに美空ひばり、氷川きよし、ピンクレディのコンサートのDVDを映しました。そして、天井や壁面にはミラーボールやスノーブレングズで光の映像を映し、コンサート会場の雰囲気を演出しました。利用者はキラキラモールが付いたうちわや蛍光のスティックを持ち、曲に合わせて振って映像との一体感を感じられるようにしました。

ほとんどの利用者が知っている曲で、ノリの良い曲と言うこともあり、リズムに合わせて体を動かしたり、声を出して歌ったり、うちわを一生懸命振っていたりと、それぞれの形で楽しむことができていました。楽しそうな笑顔がたくさん見られました。



医療福祉相談室の紹介

医療福祉相談室 古寺久仁子



ソーシャルワーカー8名、地域療育支援担当科長とアシスタント職の計10名が在籍しています。

「医療福祉相談室」はどこにあるかご存知でしょうか？短期入所等をご利用の方はよくご存知だと思いますが、1階の総合受付の横にあります。

ソーシャルワーカーは、社会福祉の立場から、患者さんの病気やけがなどで生じた生活問題に対し、患者さんやご家族の方々からの相談に対応します（日本医療ソーシャルワーク学会ホームページより引用）。

具体的には、障害者手帳の取得に関することや医療費・手当・年金等の経済的な支援に関すること、地域の福祉サービス（ホームヘルパー等）に関すること、訪問看護等の医療に関すること、幼稚園・保育園の利用や就学・進学に関すること等多岐にわたる相談に、地域関係機関とも連携を取りながら対応しています。

センターのソーシャルワーカーは、病棟、外来、通所、通園とそれぞれの担当を決めて、院内の様々な職員と協力しながら相談業務に当たっています。

病棟担当は、長期入所の方のサービス管理責任者・児童発達支援管理責任者として個別支援計画やモニタリングシートの作成に関わり、ご家族との面談やケース会議に出席し、福祉サービスに関する手続等について、ご家族や区市町村等関係機関と連絡を取ります。また、短期入所の申込受け付けや病床調整の素案作り、ご連絡や利用前のご様子伺い、利用当日の利用契約などの諸事務を行います。外来担当は、外来受診の相談・調整・予約、通園担当は、通園利用に関する相談や見学対応等を行います。通所担当は通所職員と一緒にご家族の面談をしたり、会議や行事、懇談会などに出席します。

また、医療福祉相談室は病床管理や虐待防止に関する各委員会、苦情やご意見等受付の事務局を担い、地域療育講習会実行委員会の事務局も担当しています。

お困りになった時、どこに相談したら良いかわからないこともあるかもしれません。ソーシャルワーカーと一緒に考えますので、一度ご相談にいらっしやいませんか。

大きな吹き抜けの窓の手前に
面接室1～3があります



医療福祉相談室
はこちらです

総合受付のカウンター前を左方向
へ進みます ← ← ← ←

